

ProMED-mail情報 2016年 6月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	日本脳炎 ベトナム	ハノイ予防医学センターは、先週ハノイ市内で6人の感染例を報告。地元メディアは合計9例の感染を報告。アジアでは毎年68000人が感染し、250人に1人が発症する。発症者の致死率は30%と高い。
30日	野兎病 オランダ	Wageningen UR報告によると、オランダでは2016年上半年に少なくとも2人が野兎病に感染。うち1人はユトレヒト州でウサギの皮を剥いていて感染、もう1人は南ホラント州で感染したがウサギとの接触はない。2011年以降、野兎病の報告は無かった。
30日	髄膜炎菌性髄膜炎 米国	2016年5月以降、南カリフォルニアで感染例が増加し、成人男性9人が発症し、うち1人死亡した。保健省は、2014年の勧告でHIV陽性が侵襲性髄膜炎菌感染症のリスクが高いゲイにワクチン接種を強く推奨している。
29日	熱帯熱マラリア（輸入例） ドイツ	ドミニカ共和国から帰ってきた2人のドイツ人旅行者が熱帯熱マラリアでドイツの病院に入院。ドミニカ共和国はマラリアのリスクは少ないが、近隣のハイチではマラリアが流行している。
27日	ツツガムシ病 インド	2016年、インドですでに5人の患者が病院で死亡。患者はSriganganagar, Jaipur, Dausa, Sikar, Jhunjhunu地域の住人だった。2015年には4人の患者が死亡している。
22日	ジフテリア マレーシア	6月10日、7歳の少女が発症。治療のため6月17日マラッカの病院に入院したが、翌18日、合併症を併発し死亡。少女の2人の兄弟も発症したが危機は脱した。ジフテリアはワクチンで予防できる疾患。
22日	デング熱 アジア	スリランカでは、6月17日現在18735人感染しうち24人死亡、首都コロンボでは6009人が感染。パキスタンのSindh州では6月18日現在722人感染し、うち668人はカラチで感染。フィリピンでは、2015年に200000人以上の感染者が報告されたが、2016年四半期でみると、ルソン島とミンダナオ島と西ネグロス州で174%増加。ベトナムでは、6月15日現在25441人感染しうち10人死亡、昨年と同時期より179%増加。
21日	鳥インフルエンザ（H9N2）	広東省興寧県梅州市で、4歳の少女がH9N2に感染し、深刻な状態である。H9N2は中国の鶏のインフルエンザウイルスの最も一般的なサブタイプ。
18日	日本脳炎 台湾	2016年6月12日、台南の64歳男性が高熱、嘔吐、錯乱症状で入院し、6月17日、日本脳炎と診断された。男性は2カ所の養豚場と大きな水田の近くで働いていた。
18日	手足口病 マレーシア	保健省は先週1週間に全国で1379人が感染、警戒レベルとした。その前の週は1296人が感染している。2016年はSelangor州4441人、Johor州1393人、Kuala Lumpur1317人、Sabah州1229人、Salawak州1108人が感染。
16日	ハンタウイルス肺症候群 米国	6月14日、ニューメキシコ州で25歳の男性が感染死亡。これにより2016年は州内で5人感染、3人死亡。2015年は女性1人感染し生存、2014年は6人感染し3人死亡。
4日	ウイルス性胃腸炎 フィリピン	2016年3月下旬以降、南部フィリピンのサンボアング市で3000人以上がロタ、アデノ、ノロの少なくとも3種類のウイルスに感染し急性胃腸炎を発症、死者は22人。世界では汚染水を飲んで毎年30~50億人が感染し、140万人が死亡と推定。
4日	Oropouche 熱 ペルー	2016年5月2日、ペルー保健省は57例の感染者を報告。その殆どはアマゾン熱帯雨林に位置するクスコ県の北部の町である。死亡例はない。デングウイルスとの混合感染例あり。Oropouche熱はブユに咬まれ、3~12日の潜伏期間がありデング熱と同様の症状。病原体のオロポーシェウイルスはブニavirus属シンプ血清群でベクターを介してヒトに感染する。